

県内経済の基調判断

2024年6月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年4月	5月	6月
総括判断	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)
生産	弱含みの動きとなっている	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている
	2023年7~9月	10~12月	2024年1~3月
企業景況感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

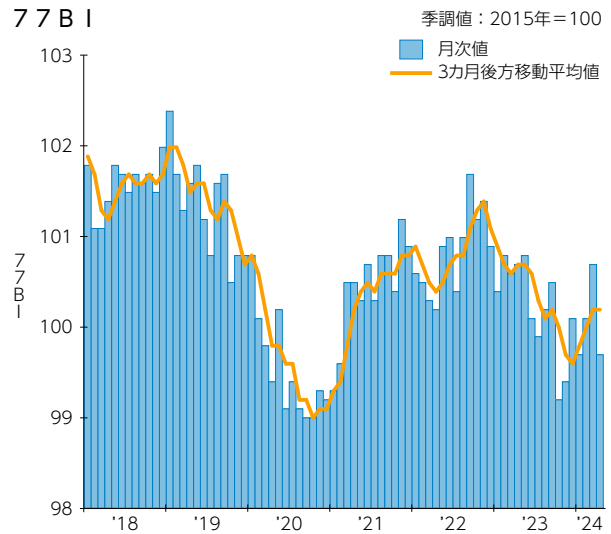
77B I (暫定値)は、持ち直しに向けた動きとなっている。

4月の77B I (暫定値)は、前月比1.0ポイント低下の99.7となった。

採用指標別にみると、宮城県消費動向指数、建築物着工床面積、有効求人倍率は前月比低下した。また、3月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比横ばいの100.2となった。

77B I



出典：当社作成 (以下も同じ)

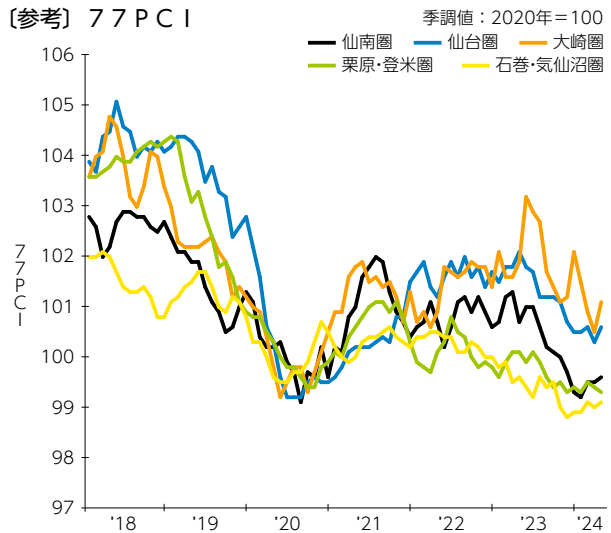
77B I (季節調整値、2015年=100)

	2024年2月	3月	4月
B I 値	100.1	100.7	99.7
鉱工業生産指数	94.9	101.5	101.5
宮城県消費動向指数	111.8	106.5	99.4
建築物着工床面積	41.5	147.0	68.9
有効求人倍率	96.5	99.5	95.8

[参考] 77P C I (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2024年2月	3月	4月
仙南圏	0.3	0.1	0.05
仙台圏	0.1	▲ 0.3	0.4
大崎圏	▲ 0.6	▲ 0.4	0.6
栗原・登米圏	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1
石巻・気仙沼圏	0.3	▲ 0.1	0.1

[参考] 77P C I



出典：当社作成 (以下も同じ)

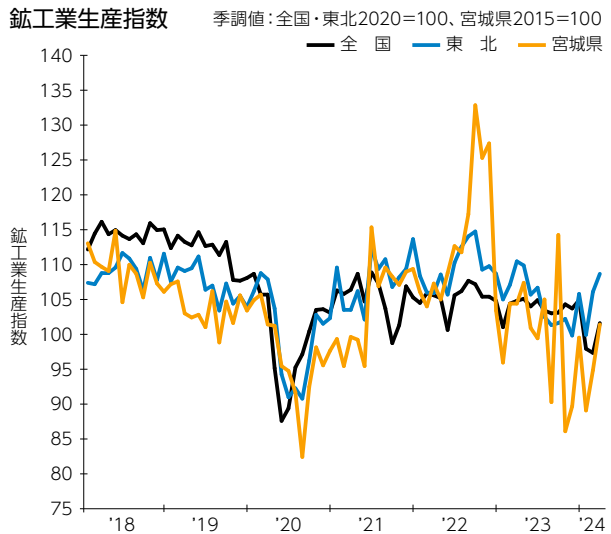
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

3月の鉱工業生産指数は、前月比7.0%上昇の101.5となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比プラスとなったことなどから、前月に引続き前月を上回っている。

一方、前年と比較すると、輸送機械工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比6.4%の低下となり、11カ月連続して前年を下回っている。

鉱工業生産指数



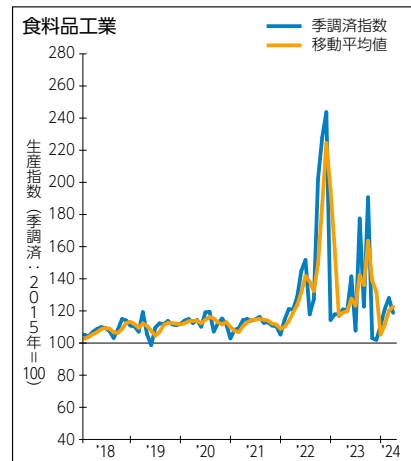
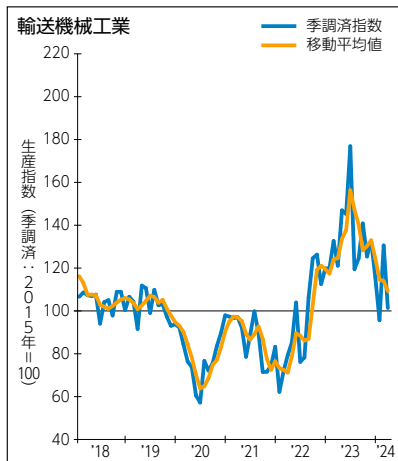
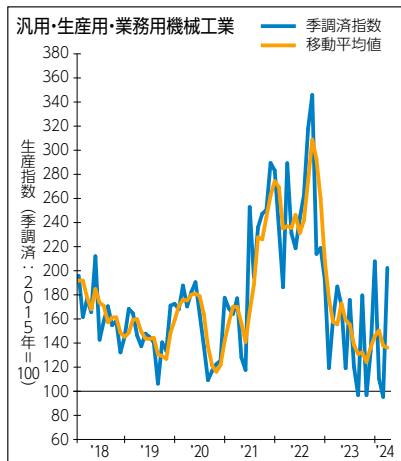
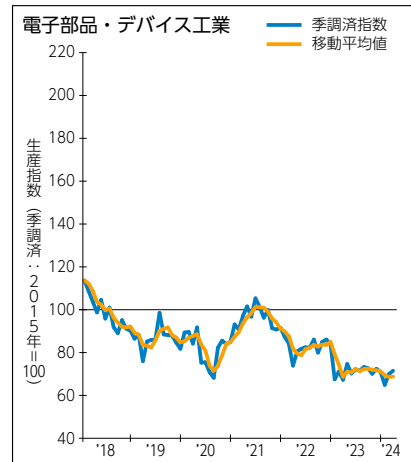
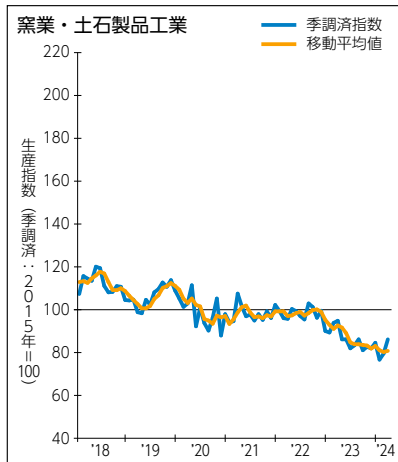
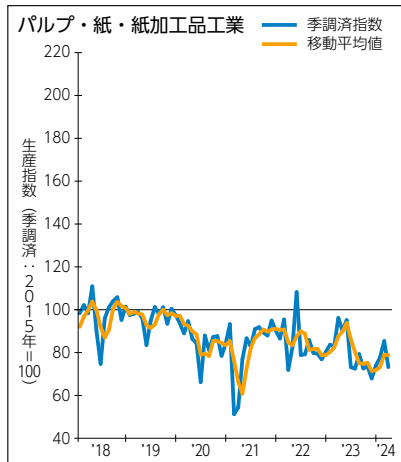
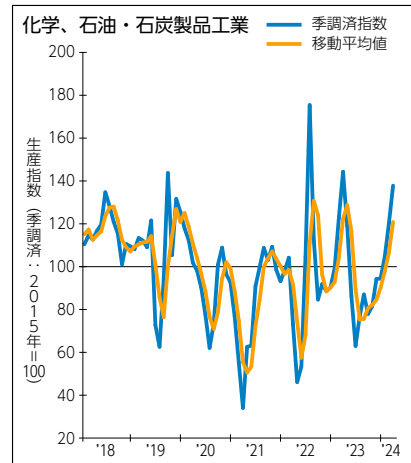
出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数 (宮城県2015年=100、東北・全国2020年=100、季節調整済、前年比:%)

	2024年1月	2月	3月
宮城県	89.1	94.9	101.5
(前年比)	▲ 5.5	▲ 6.1	▲ 6.4
東北	100.0	106.2	108.8
(前年比)	▲ 3.6	▲ 1.6	▲ 4.2
全国	98.0	97.4	101.7
(前年比)	▲ 1.5	▲ 3.9	▲ 6.2

主要業種別生産動向(宮城県) (2015年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2024年1月	2月	3月
化学、石油・石炭製品工業	104.6	120.3	137.9
(前年比)	4.0	▲ 4.9	▲ 2.4
パルプ・紙・紙加工品工業	77.7	85.3	73.1
(前年比)	▲ 8.2	5.3	▲ 21.8
窯業・土石製品工業	76.6	79.5	86.1
(前年比)	▲ 12.3	▲ 13.9	▲ 13.2
電子部品・デバイス工業	64.8	69.9	71.4
(前年比)	▲ 1.3	2.0	1.0
汎用・生産用・業務用機械工業	110.4	95.1	202.4
(前年比)	▲ 2.1	▲ 38.3	▲ 2.8
輸送機械工業	95.6	130.6	101.3
(前年比)	▲ 18.7	▲ 2.8	▲ 19.6
食料品工業	121.1	128.0	118.8
(前年比)	2.8	8.2	▲ 1.7



建設動向

公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は水準が低下している。

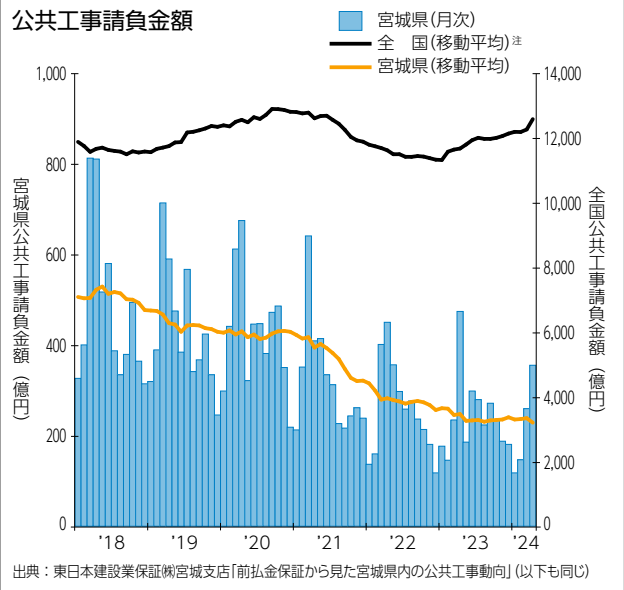
公共工事

4月の公共工事請負金額は、前年同月比25.0%減の356億円となり、3カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、国の機関では、同71.4%減の22億円と前年を下回った。

一方、地方の機関は、県が同0.1%増の145億円、市町村等は同25.0%減の189億円となり、全体で同15.8%減の334億円と前年を下回った。

また、震災前の2010年4月の請負金額（185億円）と比べた水準は92.6%増となっている。

公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)

注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別)

(前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	0.7	10.6	▲ 25.0
国の機関	▲ 12.7	21.7	▲ 71.4
県	9.0	2.0倍	0.1
市町村等	1.5	▲ 28.2	▲ 25.0
全国	▲ 0.7	6.2	18.8

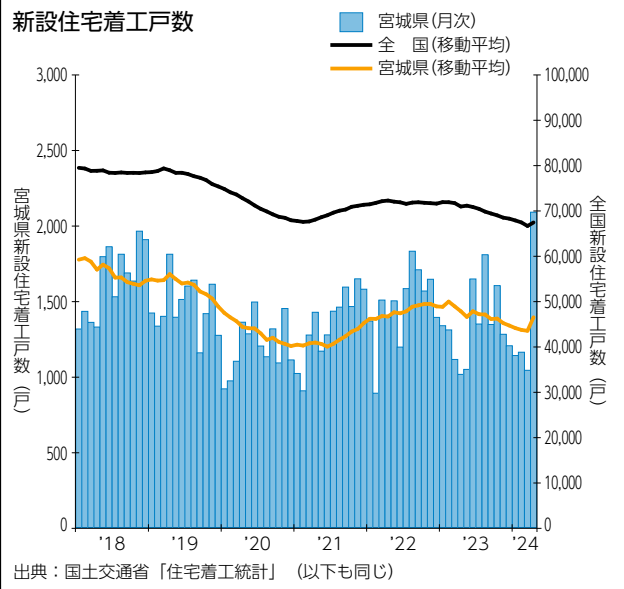
住宅建設

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.1倍の2,092戸(全国13.9%増、76,583戸)となり、6カ月ぶりに前年を上回った。

利用関係別にみると、持家が同17.9%増(309戸)、貸家が同23.7%増(652戸)、分譲が同5.0倍(1,131戸)と前年を上回った。

また、震災前の2010年4月の着工戸数(1,004戸)と比べた水準は2.1倍となっている。

新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別)

(前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	▲ 11.3	▲ 6.5	2.1倍
持家	▲ 13.7	▲ 4.9	17.9
貸家	33.1	30.0	23.7
分譲	▲ 64.3	▲ 50.5	5.0倍
全国	▲ 8.2	▲ 12.8	13.9

新設住宅着工戸数(市部・郡部別)

(前年比、%)

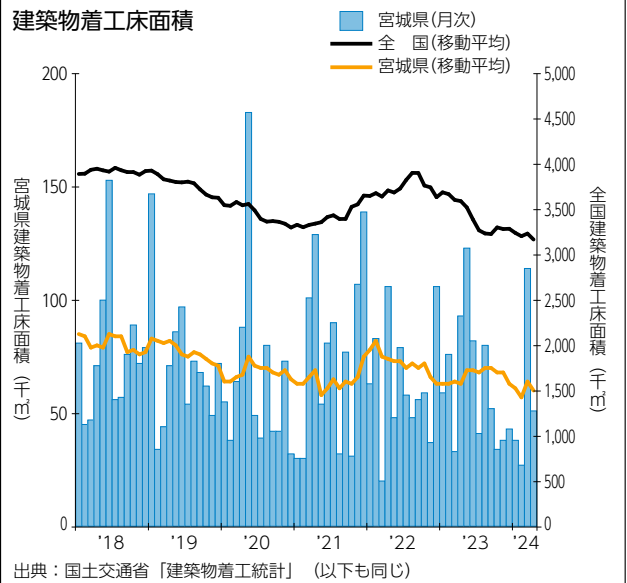
	2024年2月	3月	4月
市部	▲ 15.2	▲ 9.6	2.1倍
うち仙台市	▲ 13.2	1.0	2.4倍
うち仙台市以外	▲ 21.0	▲ 29.1	54.6
郡部	21.1	15.7	46.7

建築物着工

4月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比44.9%減の51千㎡、工事費予定額は同33.8%減の129億円となり、床面積、工事費予定額とも2カ月ぶりに前年を下回った。

用途別に床面積をみると、事務所（5千㎡：前年同月比58.8%減）などが前年を下回った。

建築物着工床面積



建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	▲ 64.5	3.5倍	▲ 44.9
事務所	2.4倍	▲ 42.3	▲ 58.8
店舗	2.5倍	▲ 55.6	▲ 30.6
工場	▲ 36.8	▲ 70.1	23.7
倉庫	▲ 82.4	10.7倍	▲ 22.4
その他	▲ 67.0	5.5倍	▲ 83.6
全国	▲ 13.2	13.5	▲ 18.2

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	▲ 60.8	3.2倍	▲ 33.8
事務所	2.2倍	▲ 45.4	▲ 60.0
店舗	2.5倍	▲ 61.3	▲ 38.8
工場	▲ 18.3	▲ 52.9	25.2
倉庫	▲ 85.9	18.9倍	▲ 15.4
その他	▲ 73.4	4.7倍	▲ 75.2
全国	6.5	55.9	24.2

消費動向

宮城県消費動向指数は概ね横ばい圏内で推移しており、小売業主要業態販売は底堅さがうかがわれる動きとなっている。乗用車新車販売は強い下押しにより減少している。

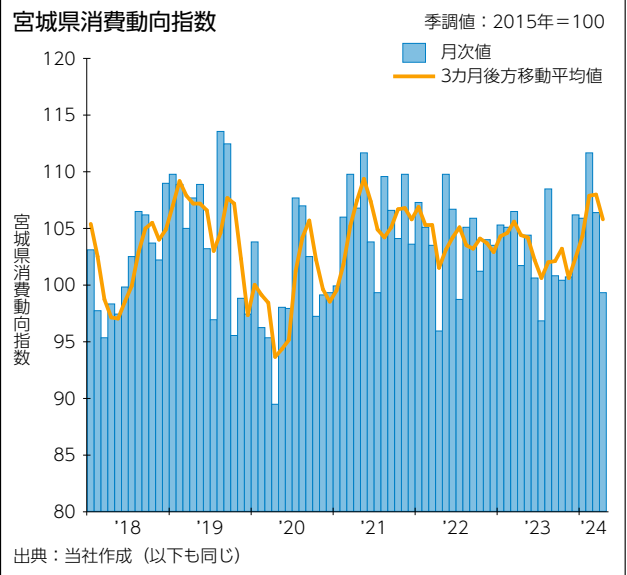
消費動向指数

4月の宮城県消費動向指数は、前月比7.1ポイント低下の99.4となり、前月に引続き低下している。

消費費目別にみると、「被服・履物」「食料」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比2.2ポイント低下の105.9となった。

宮城県消費動向指数



宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

	2024年2月	3月	4月
消費動向指数	111.8	106.5	99.4
家賃指数	110.6	110.5	110.4
乗用車販売指数	66.9	65.1	78.8
コア消費支出指数	128.7	120.6	114.2

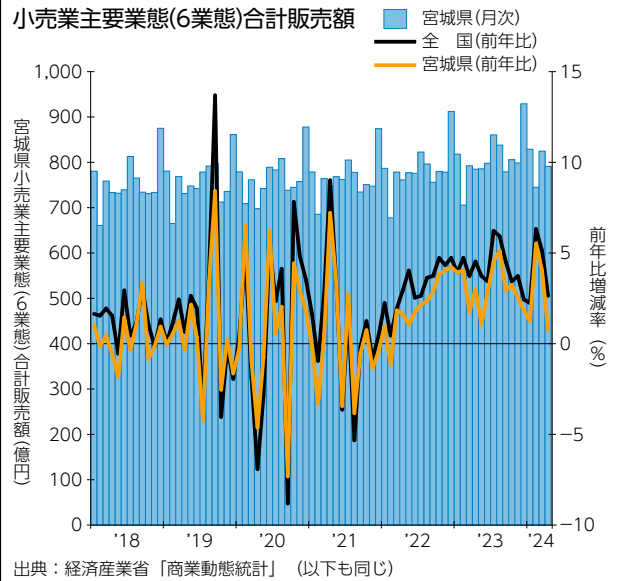
※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

4月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比0.8%増の795億円(全国2.7%増、4兆1,754億円)となり、26カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同1.1%減の329億円(全国3.0%増)となり、17カ月ぶりに前年を下回った。コンビニエンスストアは同1.5%減の199億円(全国0.3%増)となり、前月に引続き前年を下回っている。家電大型専門店は同6.0%増の53億円(全国3.5%増)となり、3カ月連続して前年を上回っている。ドラッグストアは同7.7%増の150億円(全国6.2%増)となり、37カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同1.1%減の64億円(全国0.8%増)となり、前月に引続き前年を下回っている。

小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額 (前年比、%)

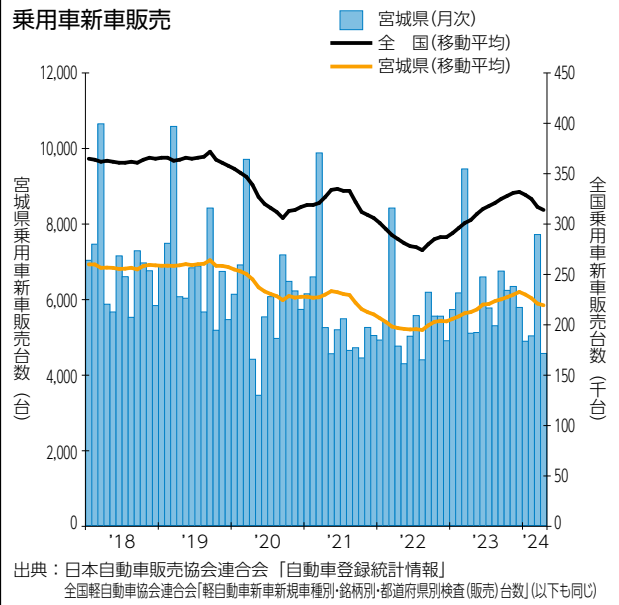
	2024年2月	3月	4月
6業態合計(宮城県)	5.6	4.1	0.8
百貨店・スーパー	5.3	4.7	▲ 1.1
コンビニエンスストア	3.3	▲ 1.3	▲ 1.5
家電大型専門店	3.1	12.4	6.0
ドラッグストア	11.8	9.6	7.7
ホームセンター	1.0	▲ 2.7	▲ 1.1
6業態合計(全国)	6.4	5.2	2.7

注) 全店ベース

乗用車新車販売

4月の乗用車新車販売台数は、前年同月比10.5%減(全国10.7%減)の4,566台となり、4カ月連続して前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同9.8%増(全国0.2%減)の2,130台となり、3カ月ぶりに前年を上回った。小型車は、同23.8%減(全国17.4%減)の1,080台となり、4カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同22.3%減(全国20.1%減)の1,356台となり、4カ月連続して前年を下回っている。

乗用車新車販売

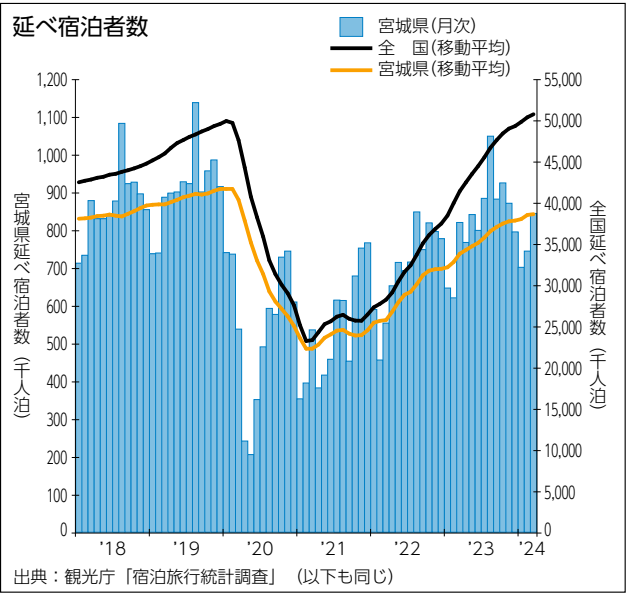


乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	▲ 18.5	▲ 18.4	▲ 10.5
普通車	▲ 9.2	▲ 6.1	9.8
小型車	▲ 34.3	▲ 34.3	▲ 23.8
軽乗用車	▲ 16.0	▲ 19.5	▲ 22.3
全国	▲ 16.3	▲ 19.6	▲ 10.7

観光動向

3月の延べ宿泊者数は、前年同月比3.0%増の846千人泊となり、29カ月連続して前年を上回っている。
 居住地別にみると、県内宿泊客は同2.6%増の223千人泊と前月に引続き前年を上回っており、県外宿泊客は同0.3%増の545千人泊と24カ月連続して前年を上回っている。
 また、外国人の延べ宿泊者数は、同2.8倍の62千人泊となり、20カ月連続して前年を上回っている。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

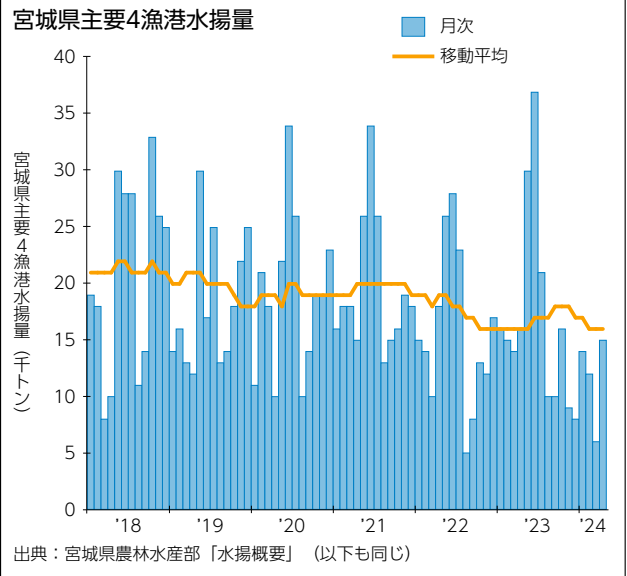
	2024年1月	2月	3月
宮城県	703	746	846
うち県内客	203	182	223
うち県外客	428	471	545
うち外国人	63	74	62
全国	45,650	47,848	55,110
うち外国人	11,235	11,517	12,982

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
宮城県	8.6	19.9	3.0
うち県内客	▲ 8.9	4.4	2.6
うち県外客	10.3	11.8	0.3
うち外国人	2.7倍	3.2倍	2.8倍
全国	15.6	16.3	8.7
うち外国人	85.5	94.2	72.0

水産動向

4月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚げは、数量が前年同月比4.0%減の15千トン、金額が同2.7%減の36億円となり、数量は6カ月連続して、金額は5カ月連続して前年を下回っている。
 魚種別にみると、数量はカツオ、金額はマグイなどが減少した。
 漁港別にみると、数量は気仙沼、女川が前年を上回ったが、塩釜、石巻が前年を下回った。金額は石巻、気仙沼が前年を上回ったが、塩釜、女川が前年を下回った。



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
合計	▲ 22.0	▲ 56.9	▲ 4.0
塩釜	▲ 25.2	▲ 42.7	▲ 65.8
石巻	▲ 25.9	▲ 42.4	▲ 11.4
気仙沼	19.9	▲ 52.5	78.6
女川	▲ 39.6	▲ 83.3	15.3

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
合計	▲ 2.6	▲ 29.1	▲ 2.7
塩釜	▲ 11.5	▲ 39.8	▲ 39.6
石巻	▲ 5.6	▲ 19.8	13.0
気仙沼	13.7	▲ 13.0	69.4
女川	▲ 5.6	▲ 68.0	▲ 0.4

貿易動向

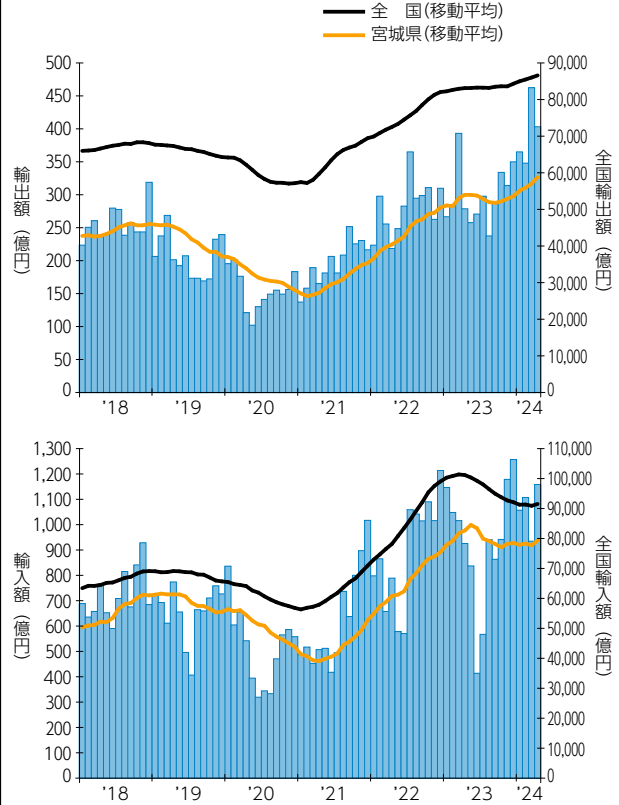
4月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比44.9%増の402億円、輸入が同25.1%増の1,155億円となった。

輸出は石油製品が増加したことなどから7カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は原油・粗油が増加したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。

輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年2月	3月	4月
宮城県	輸出	22.6	17.6	44.9
	輸入	5.7	▲ 8.0	25.1
全国	輸出	7.8	7.3	8.3
	輸入	0.6	▲ 5.1	8.3

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」（以下も同じ）

物価動向

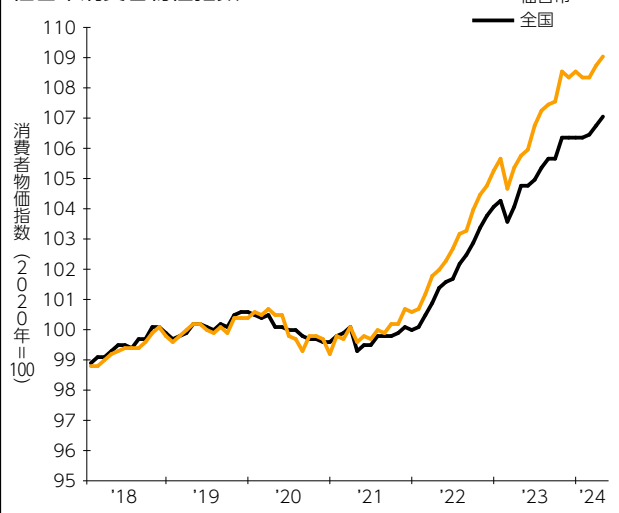
4月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.1%上昇の109.1となり34カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」などが上昇した。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

		2024年2月	3月	4月
生鮮食品を除く食料		6.2	5.2	4.3
住居		1.5	1.5	1.4
光熱・水道	▲	1.2	0.6	0.4
家具・家事用品		2.3	▲ 0.1	1.3
被服および履物		4.7	3.2	3.5
保健医療		2.2	2.4	1.6
交通・通信		3.6	3.7	4.2
教育		0.4	1.6	3.5
教養娯楽		7.4	8.2	7.0
諸雑費		1.3	1.4	1.6

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

		2024年2月	3月	4月
仙台市		3.5	3.3	3.1
全国		2.8	2.6	2.2

雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

4月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人数が減少したことなどから、前月比0.05ポイント低下の1.28倍となった。

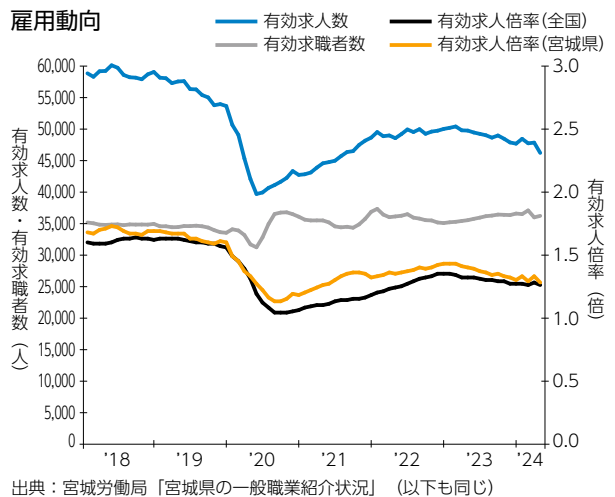
また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べてサービス業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.38倍）、大和（1.27倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.59倍）、塩釜（0.66倍）などは1倍を下回っている。

有効求人倍率等 (倍、%)

	2024年2月	3月	4月
有効求人倍率(宮城県)	1.29	1.33	1.28
(全国)	1.26	1.28	1.26
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 8.6	▲ 4.1	▲ 6.0

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値



職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2024年2月	3月	4月
気仙沼	1.19	1.21	1.06
石巻	1.54	1.40	1.20
塩釜	0.83	0.73	0.66
仙台	1.58	1.55	1.38
大和	1.48	1.37	1.27
古川	1.16	1.07	0.96
築館	1.36	1.40	1.20
迫	0.97	0.88	0.78
大河原	0.81	0.69	0.59
白石	1.27	1.27	1.10

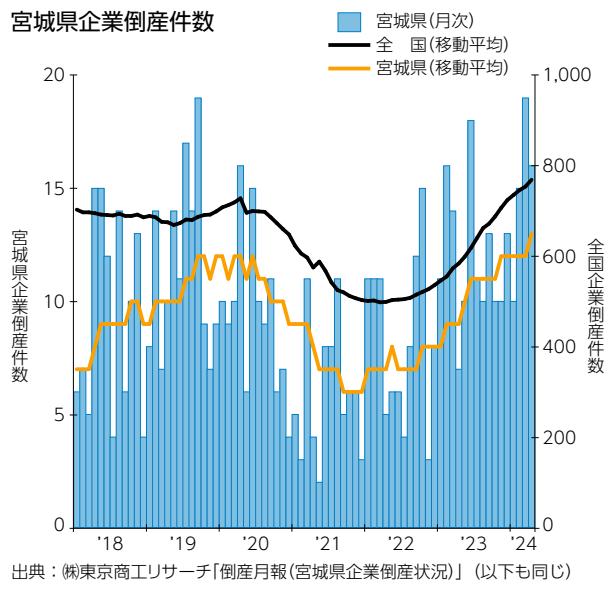
倒産動向

4月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比2.3倍の16件、負債額では同10.8倍の26億円となった。

倒産企業を業種別にみると、卸売業が6件、サービス業他が5件などとなっている。

主因別では、販売不振が9件、既往のシワ寄せが4件などとなっている。

地域別では、仙台市が10件、角田市が2件などとなっている。



企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

		2024年2月	3月	4月
宮城県	件数	15	19	16
	負債額	2,982	2,744	2,594
全国	件数	712	906	783
	負債額	139,596	142,252	113,423

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

		2024年2月	3月	4月
宮城県	件数	▲ 6.3	35.7	2.3倍
	負債額	4.5倍	3.9	10.8倍
全国	件数	23.4	12.0	28.4
	負債額	44.5	▲ 3.5	▲ 44.4

人口動向

5月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比15,982人減の225万1,867人となり、37カ月連続して前年を下回っている。

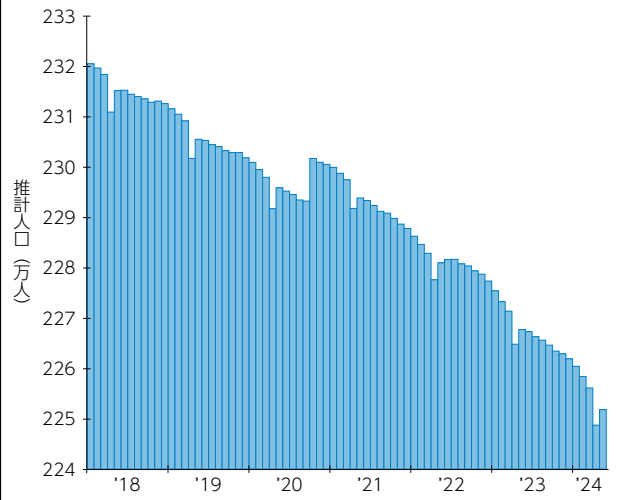
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,728人減、社会増減は746人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（216人増）、富谷市（121人増）の2市、減少したのは石巻市（2,148人減）、仙台市（1,713人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では9万4,986人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万9,354人増）、名取市（5,383人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万7,871人減）、気仙沼市（1万6,705人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2024年3月	4月	5月
総人口	2,256,191	2,248,772	2,251,867
自然増減	▲ 1,687	▲ 1,740	▲ 1,430
社会増減	▲ 603	▲ 5,679	4,525

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月	2023年5月	2024年5月	前年比	震災前比		2011年3月	2023年5月	2024年5月	前年比	震災前比
	①	②	③	③-②	③-①		①	②	③	③-②	③-①
宮城県	2,346,853	2,267,849	2,251,867	▲ 15,982	▲ 94,986	村田町	11,939	10,168	10,008	▲ 160	▲ 1,931
仙台市	1,046,737	1,097,804	1,096,091	▲ 1,713	49,354	柴田町	39,243	37,530	37,234	▲ 296	▲ 2,009
石巻市	160,394	134,671	132,523	▲ 2,148	▲ 27,871	川崎町	9,919	7,975	7,780	▲ 195	▲ 2,139
塩釜市	56,221	50,852	50,502	▲ 350	▲ 5,719	丸森町	15,362	11,351	11,021	▲ 330	▲ 4,341
気仙沼市	73,154	57,719	56,449	▲ 1,270	▲ 16,705	亘理町	34,795	32,800	32,561	▲ 239	▲ 2,234
白石市	37,273	31,220	30,448	▲ 772	▲ 6,825	山元町	16,608	11,638	11,484	▲ 154	▲ 5,124
名取市	73,603	78,770	78,986	216	5,383	松島町	15,014	12,848	12,608	▲ 240	▲ 2,406
角田市	31,188	26,744	26,361	▲ 383	▲ 4,827	七ヶ浜町	20,353	17,497	17,375	▲ 122	▲ 2,978
多賀城市	62,990	63,029	62,534	▲ 495	▲ 456	利府町	34,279	35,043	34,951	▲ 92	672
岩沼市	44,160	43,639	43,472	▲ 167	▲ 688	大和町	25,366	28,510	28,438	▲ 72	3,072
登米市	83,691	72,582	71,126	▲ 1,456	▲ 12,565	大郷町	8,871	7,546	7,381	▲ 165	▲ 1,490
栗原市	74,474	61,091	59,739	▲ 1,352	▲ 14,735	大衡村	5,361	5,579	5,476	▲ 103	115
東松島市	42,840	38,142	37,659	▲ 483	▲ 5,181	色麻町	7,406	6,337	6,222	▲ 115	▲ 1,184
大崎市	134,950	123,409	121,763	▲ 1,646	▲ 13,187	加美町	25,421	20,897	20,468	▲ 429	▲ 4,953
富谷市	47,501	51,382	51,503	121	4,002	涌谷町	17,399	14,573	14,213	▲ 360	▲ 3,186
蔵王町	12,847	10,871	10,699	▲ 172	▲ 2,148	美里町	25,055	23,111	22,787	▲ 324	▲ 2,268
七ヶ宿町	1,664	1,179	1,164	▲ 15	▲ 500	女川町	9,932	6,104	6,020	▲ 84	▲ 3,912
大河原町	23,465	23,631	23,421	▲ 210	▲ 44	南三陸町	17,378	11,607	11,400	▲ 207	▲ 5,978

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数